
この先3か月のお金は、
担当AIが毎月、週ごとの残高を見通し、
足りなくなる週を先に知らせる。
社長は手の打ち方を決めるだけ

AIエージェントの動き方の一例（見本：架空の工務店）

株式会社SeKnAck

見本の工務店・会社・取引先・金額はすべて架空です。見本のため、銀行の画面は映さず、ネットバンクから出した形の架空の明細の表だけを使っています。

工事の入金と毎月の支払いは日がずれるので、月末の残高だけでは月の途中で足りなくなる週に気づけない

工務店で、工事の入金と毎月の支払いを回している時に起きること（見本の会社の例）

	1 入る日と出る日がずれる	2 表が3つに分かれる	3 足りない週に気づくのが遅れる										
起きていること	■ 工事の入金は、着手金・中間金・引き渡しの後の残金と、何か月かに分かれて入る ■ 材料・外注・給与・ローンの支払いは、毎月決まった日に出る	■ 通帳の明細、出した請求書の一覧、支払予定の表が、それぞれ別の表になる <table><tr><td>今回の見本</td><td>数</td></tr><tr><td colspan="2">(みずほ工務店・10月の初め)</td></tr><tr><td>渡した表</td><td>3つ</td></tr><tr><td>表の行</td><td>82行</td></tr><tr><td>見通す週</td><td>13週</td></tr></table>	今回の見本	数	(みずほ工務店・10月の初め)		渡した表	3つ	表の行	82行	見通す週	13週	■ 月末の残高だけを見ていると、月の途中で足りなくなる週に気づけない ■ 支払いの相談は、支払日の2週間前までに社長から、という取引先もある
	今回の見本	数											
(みずほ工務店・10月の初め)													
渡した表	3つ												
表の行	82行												
見通す週	13週												
そのため	➤ 給料日や支払いの日に足りるかが、毎月ひやひやする	➤ 3つの表を読み合わせて週ごとに足し引きするのは手間で、毎月は続かない	➤ 足りないと分かった時には、相談の間に合う日を過ぎている										

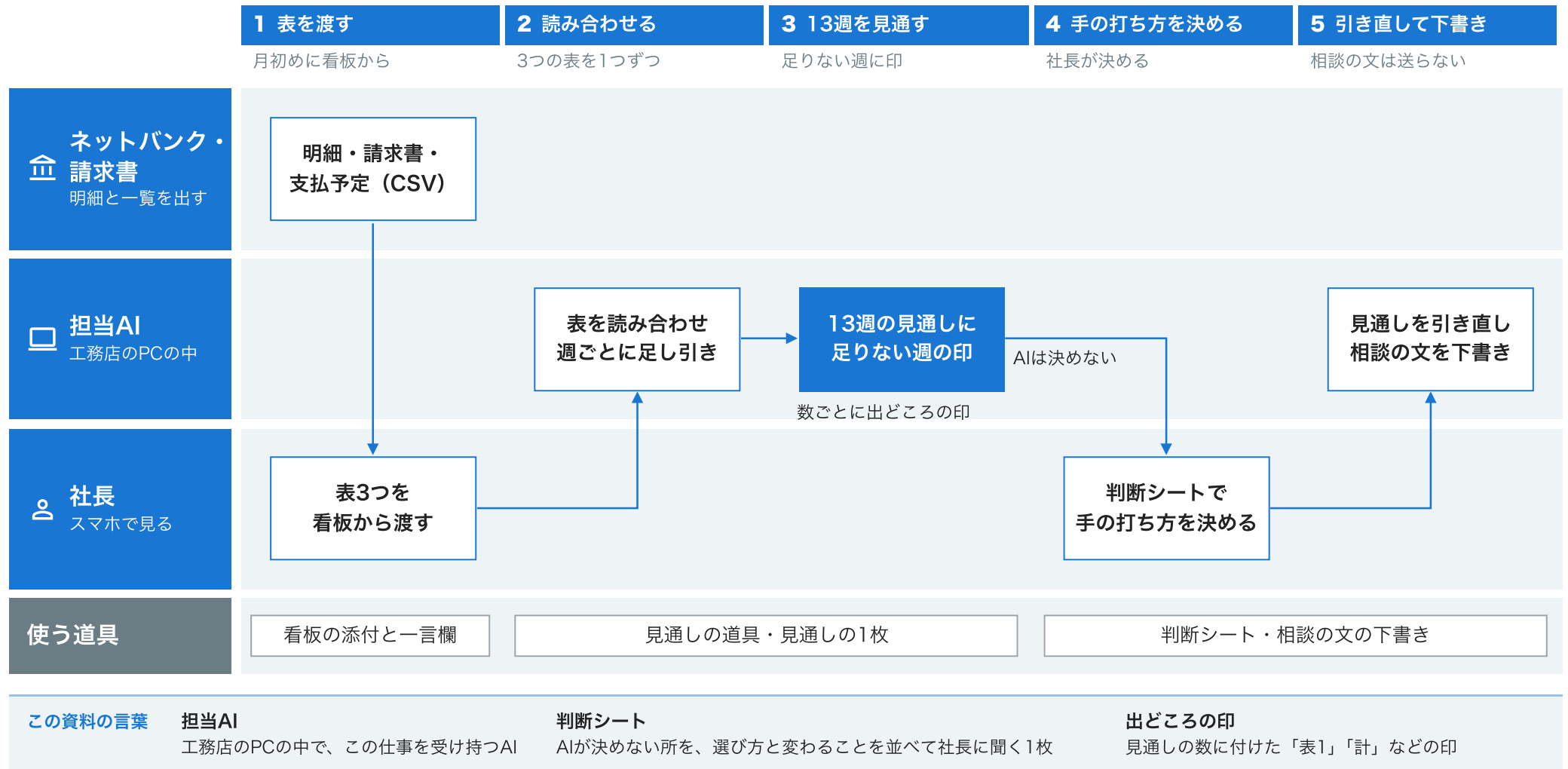
注：入金の分かれ方・支払いの種類・月末の残高だけでは気づけないことは見本の作業場の資金繰りの決まり、支払いの相談の決まりは取引先の一覧、表と行の数は今回渡した表から

全体の流れ

社長は月初めに表を渡し、足りない週への手の打ち方を決めるだけで、見通しづくりは担当AIが引き受ける

表を渡してから、決めた内容で見通しを引き直すまで（見本：架空の工務店）

— 実線：今回の流れ ■ 主役の仕事



注：番号は次のページから説明する順。ネットバンクや請求書の置き場そのものには、担当AIは入りません（明細と一覧を出して渡すのは社長です）

出所：見本の作業場の担当AIの手順と資金繰りの決まり（見本の会社は架空）

1 表を渡す

表を添えて一言で頼むと、担当AIが表を1つずつ読んで道具で足し引きし、数ごとに、どの表のどの行から取ったかを控える

社長のスマホの画面（左）と、できた見通しの1枚の「読み合わせた3つの表」（中）、頼んでから担当AIがすること（右）

1 社長が表3つを添えて一言で頼む

お客様や件名（カードの題になります）

この先3か月のお金

カードの題：この先3か月のお金 この先3か月のお金の見通し

ファイル

+ ファイルを選ぶ

写真・PDF・Word・Excel・PowerPoint・動画。1ファイル20MBまで、合計50MBまで（仮）。

文 出した請求書_2026年9月30日まで.csv 2KB

文 支払予定_2026年10月-12月.csv 2KB

文 通帳の明細_2026年7月-9月.csv 2KB

3件 合計 6KB / 50MB

メールの本文を貼る・一言

9月30日までの通帳の明細と、出した請求書、10月～12月の支払予定です。この先3か月のお金の見通しをお願いします。

メールは、スマホのメールの本文を長押しでコピーして貼ってください。

始める

「始める」を押すと、カードができて担当AIが作ります。

2 見通しの1枚の「読み合わせた3つの表」



頼んでから担当AIがすること	今回の見本で分かったこと
■ 一言欄 ➢ 「9月30日までの通帳の明細と、出した請求書、10月～12月の支払予定です。この先3か月のお金の見通しをお願いします。」と書いて始める	看板の「この先3か月のお金の見通し」から。表は添付
■ 渡した表 ➢ 通帳の明細、出した請求書の一覧、支払予定の表を、1つずつ読む	3つ・82行（通帳39・請求書17・支払予定26）
■ 決まりと一覧 ➢ 数え方の決まりと、取引先ごとの支払いの相談の決まりを読む	手元に残したい額 1,000,000円
■ 数える ➢ 道具で週ごとに足し引きし、数ごとに、どの表のどの行から取ったかを控える	数の名前 53種類

社長は月初めに、ネットバンクなどから出した表をまとめて添え、一言を書いて「始める」を押すだけです

注：見本のため、銀行の画面は映さず、ネットバンクから出した形の架空の明細の表だけを使っています。入金予定日を過ぎても未入金の請求書（385,000円）は、いつ入るか分からないので見通しに入れず、別に書きます（資金繰りの決まり）

出所：見本の作業場で、担当AIの「この先3か月のお金の見通し」（2026年10月17日）を実際に動かした結果（見本の工務店・取引先・金額は架空）

2 13週を見通す

担当AIは週ごとに入る予定を足し出る予定を引いて先の残高を見通し、 11月の2週で足りなくなることを先に示す

11月の前後の4週（6～9週目）の入る・出る・週末の残高（同じ3つの見方で）

見通しの数 足りなくなる週

	入る（請求書から）	出る（支払予定から）	週末の残高	結果
6週目 11月5日～11月11日	入金 165,000円 表2	税金など 96,000円 表3	2,303,380円 計	足りる
7週目 11月12日～11月18日	入金なし 0円 表2	材料2社（11月16日） 丸山材木店 1,980,000円 表3・みずほ建材 720,000円 表3	-396,620円 計	足りない
8週目 11月19日～11月25日	森田様の中間金 3,080,000円 表2	外注と給与 3,380,000円 表3	-696,620円 計	一番少ない
9週目 11月26日～12月2日	中村様邸の残金（11月30日） 4,620,000円 表2	766,000円 表3	3,157,380円 計	戻る

注：はじめの残高は通帳の最後の残高 2,746,380円（9月30日）。13週で入る予定は 16,555,000円、出る予定は 17,776,000円 です。一番少ない残高は8週目の -696,620円、手元に残したい額（1,000,000円）を下回る週も 2週 です。10月5日の中間金（3,300,000円）が入ったかは、通帳が9月30日までのため表からは分かりません

出所：見本の作業場で、担当AIの「この先3か月のお金の見通し」（2026年10月17日）を実際に動かした結果（見本の工務店・取引先・金額は架空）

見通しの数字はどれも、押すと元の表の行か計算に使った数までたどれるので、社長は気になった数をその場で確かめられる

見通しの1枚の気になる点（左。青い枠は担当AIがいちばん大きいとした点）と、数を押した所の中身（右）

見通しの1枚の「気になる点」(4つ)

気になる点1	11月の2週（7週目・8週目）で足りなくなります	-696,620円
気になる点2	11月30日の大きな入金のおとは戻ります	3,157,380円
気になる点3	入金予定日を過ぎた未入金があります	385,000円
気になる点4	10月5日の中間金が入ったかは、表からは分かりません	3,300,000円

拡大：数を押した所（7週目の週末の残高「-396,620円 計」）

印

「表1」～「表3」は読んだ表の番号で、押すと元の表の行が出る。灰色の「計」は、ほかの数から計算した数で、押すと計算に使った数が出る

数

印つきの数は59個（社長が決める前）。決めた後は64個

「表3」の数を押すと、支払予定の表の行がそのまま並ぶ

週7.週末の残高

-396,620円

前の週の週末の残高（1週目は通帳の最後の残高）+ 入る - 出る
計算に使った数：週6.週末の残高 = 2,303,380円 / 週7.入る = 0円 / 週7.出る = 2,700,000円

閉じる

前の週の残高 + 入る - 出る、の式と、計算に使った数（6週目の残高・7週目の入る・出る）が出る

4 1枚で決める

どの支払いをずらす相談をするかは、ずらした時の見通しを並べた1枚で、社長が選ぶだけで済む

担当AIが作った判断シートのQ1（左）と、ずらす案ごとの見通し（右。シートの選択肢・選ぶと変わること・取引先の一覧から）

1 社長のスマホに届くシート（Q1）

Q1 支払いの時期をずらす相談をするか（ずるならどれを）

足りなくなる2週は、11月16日の材料の支払いが、11月30日の大きな入金より先に出ることで起きています。ずらせるのは材料の2社だけです。

☒ **A 丸山材木店の11月16日の支払い（1,980,000円）を11月30日にずらす相談をする** おすすめ

選ぶと変わること：足りなくなる週は0週、一番少ない残高は1,283,380円（8週目）、手元に残したい額を下回る週も0週になります。AIが社長名の相談の文を書きします（送るのは社長です）。

☐ **B みずほ建材の11月16日の支払い（720,000円）を11月30日にずらす相談をする**

選ぶと変わること：足りなくなる週は0週になりますが、一番少ない残高は23,380円（8週目）で、7・8週目は手元

	Q1 A 推奨・社長が選んだ 丸山材木店をずらす	Q1 B みずほ建材をずらす	Q1 C 2社ともずらす
ずらす支払い	■ 丸山材木店 1,980,000円 （11月16日 → 11月30日）	■ みずほ建材 720,000円 （11月16日 → 11月30日）	■ 2社とも（11月16日 → 11月30日）
一番少ない残高	■ 1,283,380円（8週目）	■ 23,380円（8週目）	■ 1,291,380円（12週目）
手元に 残したい額を 下回る週	■ 0週	■ 2週（7・8週目）	■ 0週
相談先のこと	➤ 前にも2週間ずらしてもらったことがある。相談は支払日の2週間前までに社長から	➤ 支払いの相談をしたことはない	➤ 相談先が2社になる

注：社長の答えは Q1 A・Q2 A でした。Q2「金融機関に借入れを相談するか」は、担当AIはどちらも勧めず、選ぶと変わる事実だけを並べ、社長が「今回は相談しない」を選びました。Q1 には「ずらさない」と、下の窓に書く別案もあります

5 引き直しと下書き

社長が答えると、決めた内容で見通しが引き直され、取引先への相談の文も下書きされる

社長のスマホの画面（答えてから、引き直しと下書きができるまで。順に1～3）

1 判断シートで答える

回答

選び終わったら「回答文を作る」を押し、「コピー」した文を、この依頼の看板のカードの会話欄に貼って送ってください（看板を使っていない時は、Claude の会話に送ってください）。別案を選んだ時は、下の窓に中身を書いてから作ってください。

回答文を作る

コピー

最初に戻る

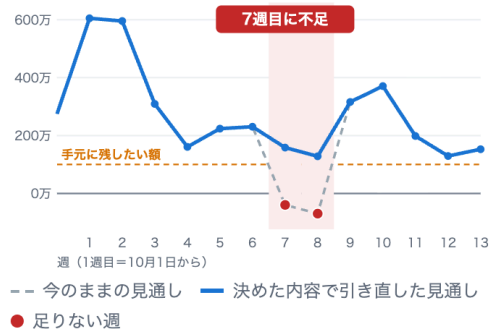
Q1 A / Q2 A

このあと行うこと

「回答文を作る」で「Q1 A / Q2 A」ができ、カードの会話欄に貼って送る

2 決めた内容で引き直す

週ごとの残高の見通し（13週）



今のまま 一番少ない残高 **-696,620円** 計 (週8 (11月19日～11月25日))・足りなくなる週 **2週** 計
・手元に残したい額を下回る週 **2週** 計

引き直し 一番少ない残高 **1,283,380円** 計 (週8 (11月19日～11月25日))・足りなくなる週 **0週** 計
・手元に残したい額を下回る週 **0週** 計

一番少ない残高は -696,620円 → 1,283,380円、足りなくなる週は 2週 → 0週

3 相談の文を下書きする

決めた内容で、ずらした支払い

- 支払予定の12行目 丸山材木店・10月分の材木（15日が日曜のため16日） **1,980,000円** 表3
11月16日 → 11月30日

取引先への相談の文（下書き）

下書きです。まだ送っていません。送るか、いつ送るかは水野社長が決めます。

宛先 丸山材木店 御中

件名 11月のお支払い日についてのご相談（みずほ工務店）

丸山材木店 御中

いつもお世話になっております。みずほ工務店の水野です。

10月分の材木のお支払い 1,980,000円 について、ご相談させていただきます。

丸山材木店あての、支払い日の相談の文。まだ送っていない下書きで、送るかどうか・いつ送るかは社長が決める

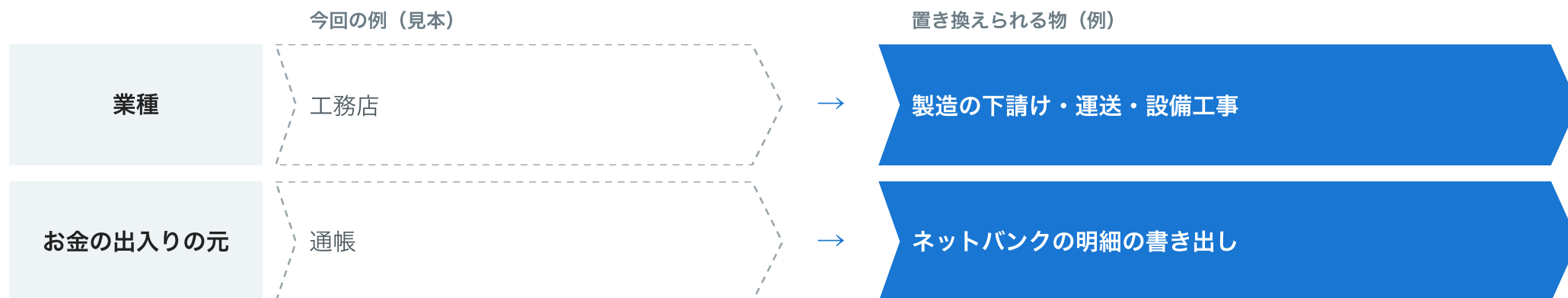
注：時間の目安：手作業で約60分の表の読み合わせと見通しづくりが、確認の約5分になります（見本の条件での試算。担当AIの作業は約3分（見本の撮影で実測）、手作業は3つの表82行の読み合わせ約35分+13週の表づくり約25分で計算）。取引先への支払い日の相談と、金融機関に相談するかどうかは社長が決めて社長が行い、担当AIは取引先・金融機関に何も送らず、ネットバンクにも入りません。見本のため、銀行の画面は映さず、ネットバンクから出した形の架空の明細の表だけを使っています

出所：見本の作業場で撮影した社長のスマホの画面（見本の工務店・取引先・金額は架空）

工務店の通帳は一例で、製造の下請けや運送などでも、ネットバンクの明細から今お使いの形に合わせて作り直せる

今回の見本で使った物と、御社に合わせて置き換えられる物

□ 今回の例 ■ 置き換えられる物



ここでお見せしたのは一例です。「ここをこう変えたい」をお聞かせください。

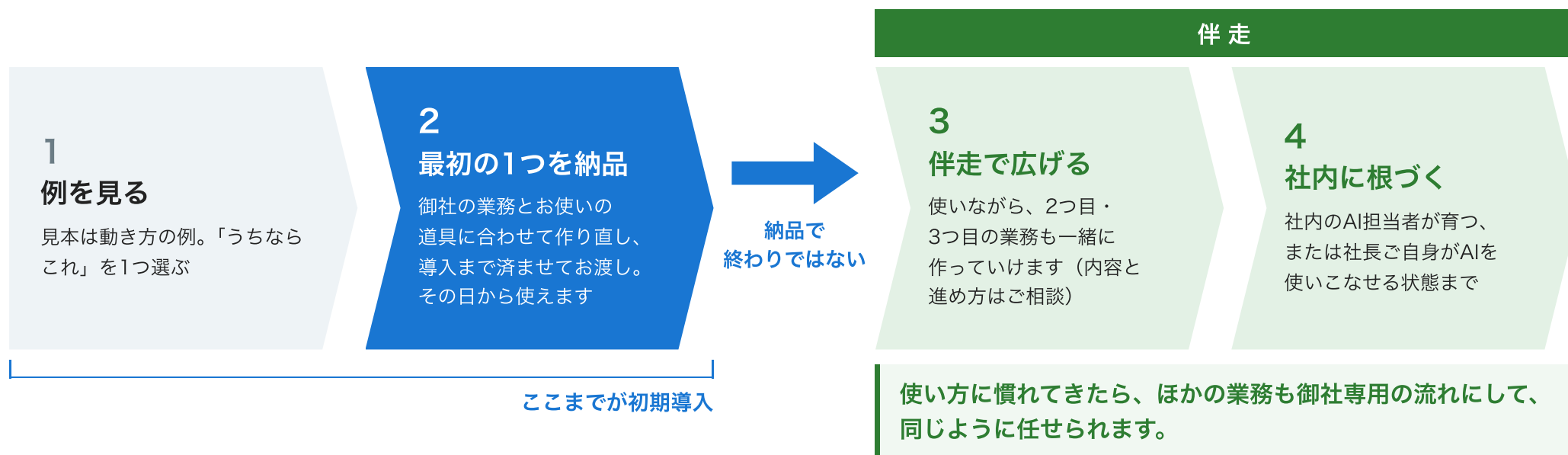
注：右の列は置き換えの例です。入金が分かれて入り、支払いが決まった日に出る仕事なら、同じ形が使えます。実際にどれを使うかは、お話を伺ってから決めます

導入とその先

最初の1つを使える状態で納品し、その先は伴走で一緒に広げていく

最初の1つの納品から社内に根づくまでの4段と、お問い合わせ先

納品までと、その先の伴走



お問い合わせ先

資料のご請求・お問い合わせ

ai-setup@seknack.com

株式会社SeKnAck

注：伴走の内容と進め方は、ご相談のうえ決めます。

出所：株式会社SeKnAck（このページまでの画面と数字は見本の作業場の物。見本の工務店・取引先・金額は架空）